(第1面)

## 産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和 6年 6月 13日

(あて先) 姫路市長

提出者 住 所

兵庫県姫路市南駅前町26番地

氏 名 (法人にあっては、名称及び代表者の氏名) 大和ハウス工業株式会社 姫路支店 支店長 戸松 広明

電話番号 079-285-2155

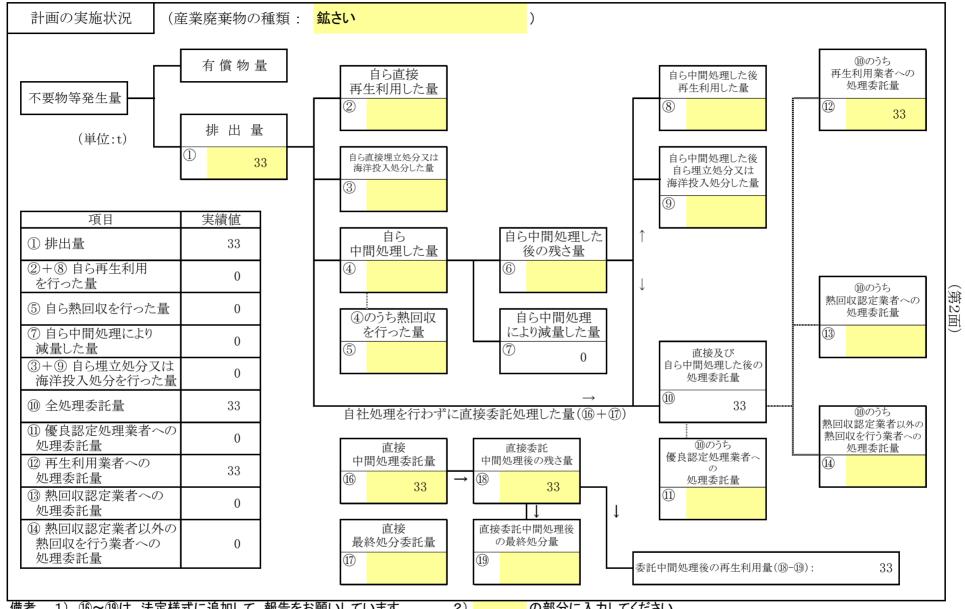
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、 年度の産業廃棄物処理 計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	姫路市管轄内事業場
事業場の所在地	姫路市管轄区域内
事業の種類	建築工事業(木造建築工事業を除く) 0641 木造建築工事業 0651
産業廃棄物処理計画における 計画期間	令和5年4月1日~令和6年3月31日

## 産業廃棄物処理計画における目標値

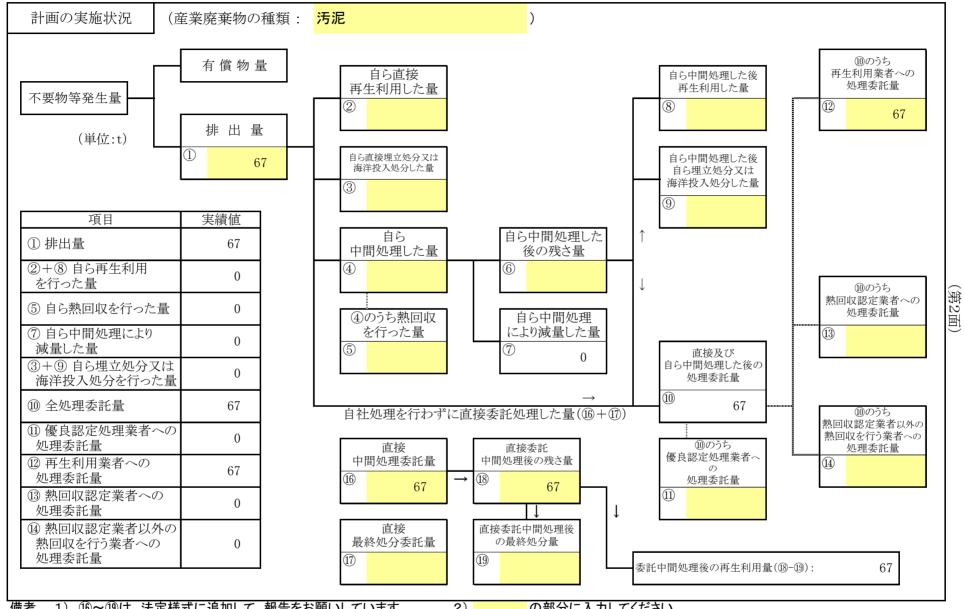
項目	目標値	項目	目標値
排出量	8545.6 t	全処理委託量	8545.6 t
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への 処理委託量	443.5 t
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	再生利用業者への 処理委託量	7967.1 t
自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への 処理委託量	139.2 t
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t
※事務処理欄			

(日本産業規格 A列4番)



 1) ⑥~⑩は、法定様式に追加して、報告をお願いしています。 3) 次の2項目がゼロになるように、各欄に数値を入力してください。

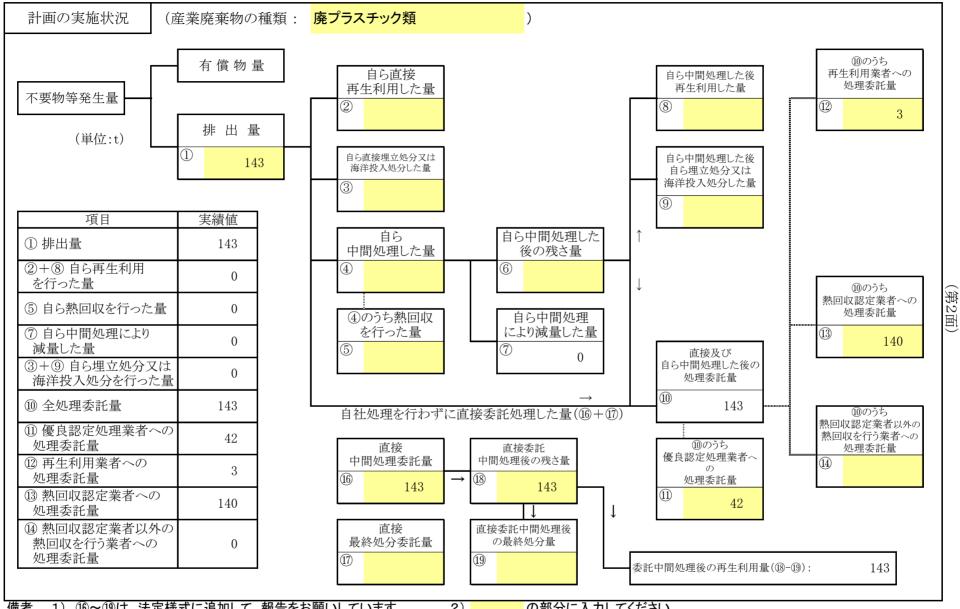
項目	1-(2+3+4+16+17)	10-(6-8-9+16+17)
計算値	0	0
正誤 チェック	正	正



 1) ⑥~⑩は、法定様式に追加して、報告をお願いしています。 3) 次の2項目がゼロになるように、各欄に数値を入力してください。

(1)-(2)+(3)+(4)+(16)+(17) (10)-(6)-(8)-(9)+(16)+(17)項目 計算値 0 0 正誤 正 正 チェック

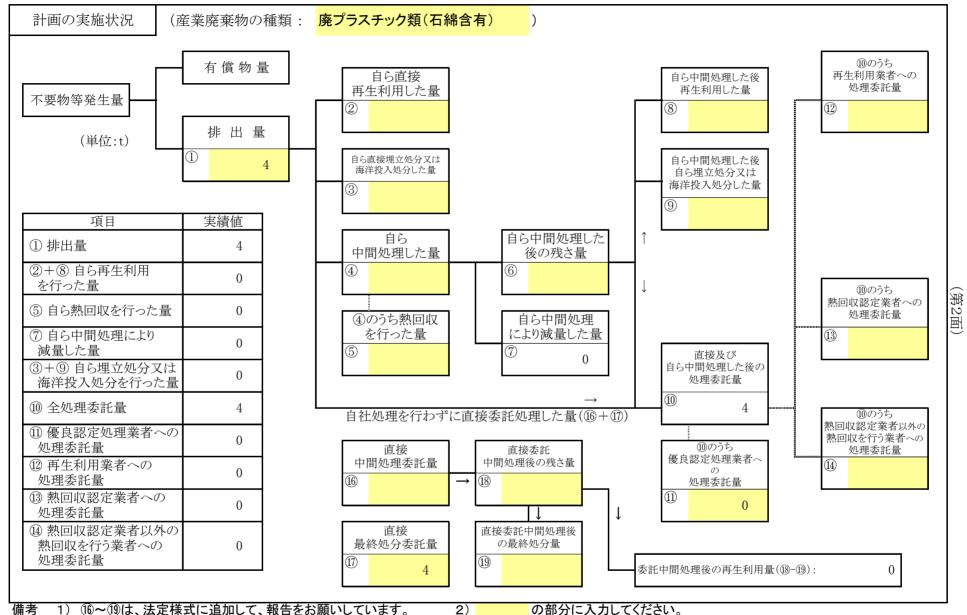
の部分に入力してください。



 1) ⑥~⑩は、法定様式に追加して、報告をお願いしています。 3) 次の2項目がゼロになるように、各欄に数値を入力してください。

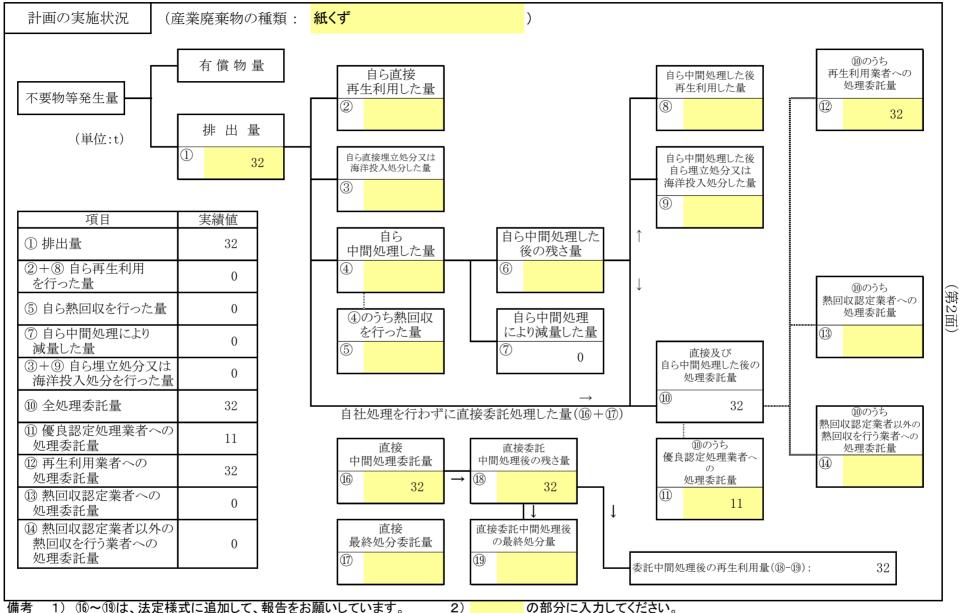
(1)-(2)+(3)+(4)+(16)+(17) (10)-(6)-(8)-(9)+(16)+(17)項目 計算値 0 0 正誤 正 正 チェック

の部分に入力してください。



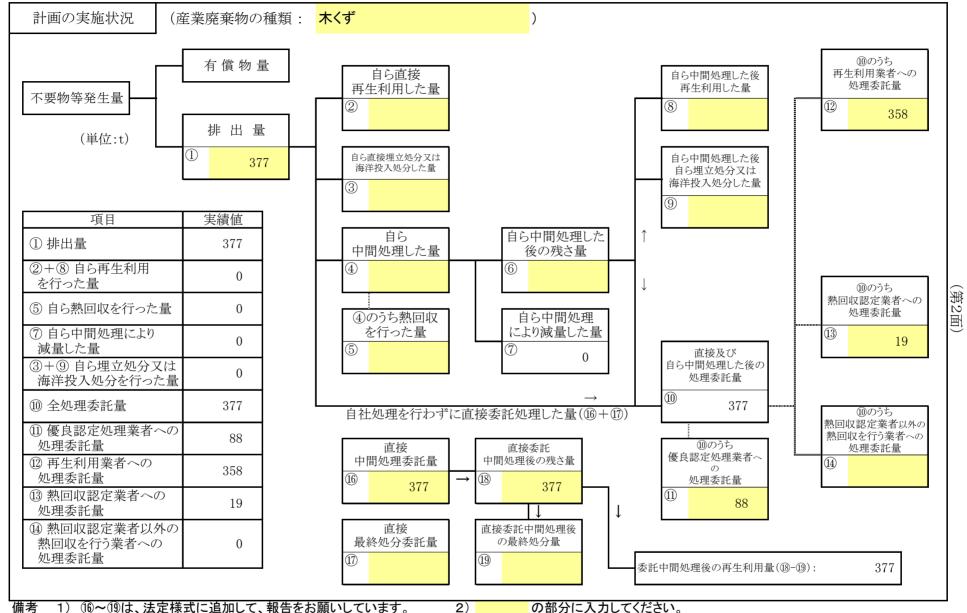
備考 1) ⑯~⑲は、法定様式に追加して、報告をお願いしています。 3) 次の2項目がゼロになるように、各欄に数値を入力してください。

項目	1-(2+3+4+16+17)	10-(6-8-9+16+17)
計算値	0	0
正誤 チェック	正	正



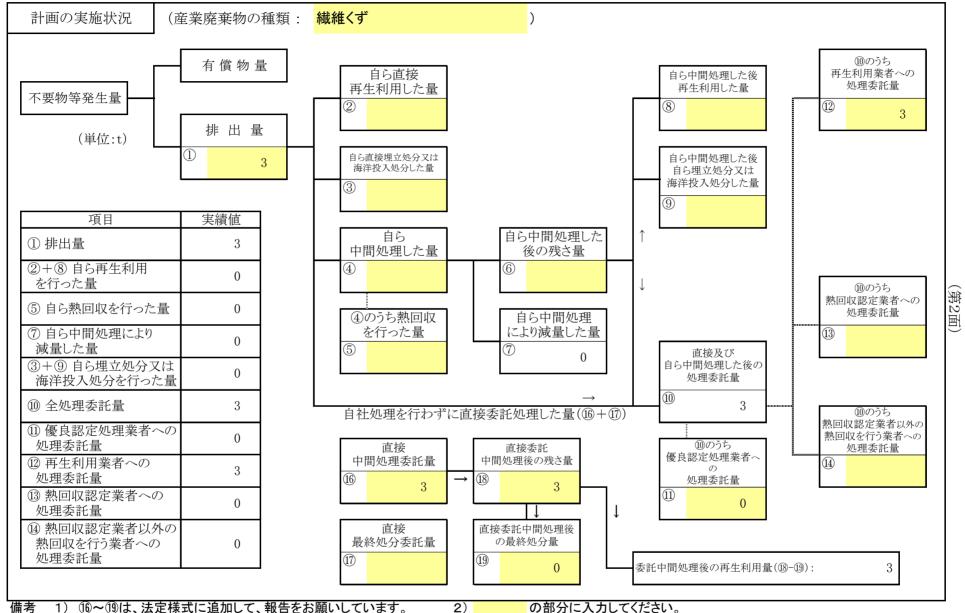
備考 1) ⑯~⑲は、法定様式に追加して、報告をお願いしています。 3) 次の2項目がゼロになるように、各欄に数値を入力してください。

項目	1-(2+3+4+16+17)	10-(6-8-9+16+17)
計算値	0	0
正誤 チェック	正	正



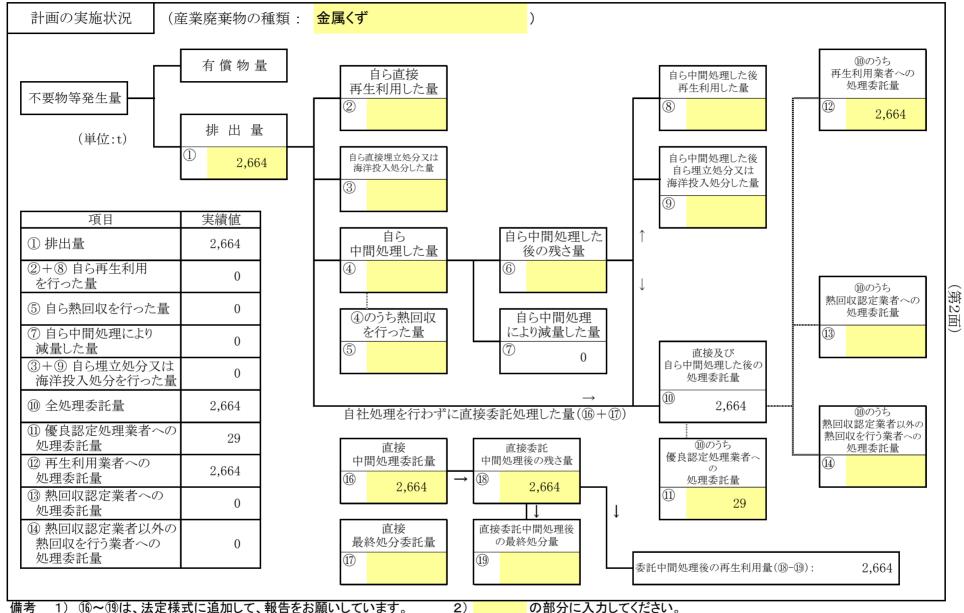
3) 次の2項目がゼロになるように、各欄に数値を入力してください。

項目	1-(2+3+4+16+17)	10-(6-8-9+16+17)
計算値	0	0
正誤 チェック	正	正



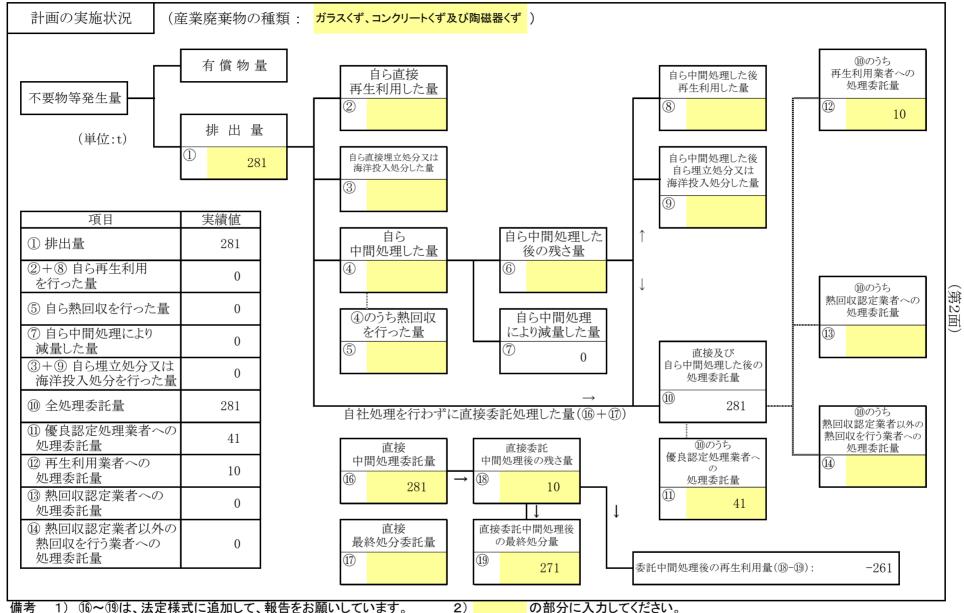
3) 次の2項目がゼロになるように、各欄に数値を入力してください。

項目	1-(2+3+4+16+17)	10-(6-8-9+16+17)
計算値	0	0
正誤 チェック	正	正



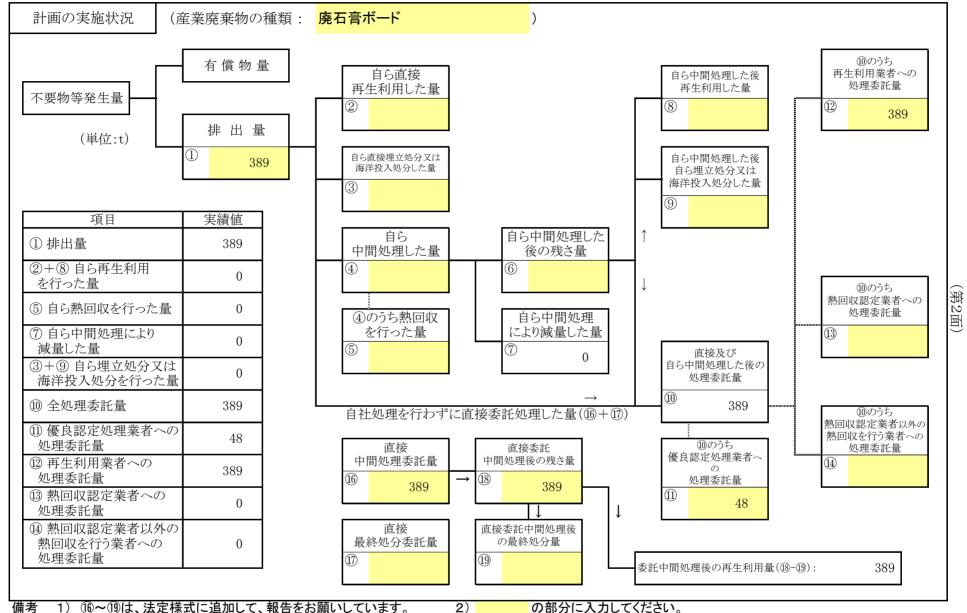
(備考 1) (15)~(19は、法定様式に追加して、報告をお願いしています。 3) 次の2項目がゼロになるように、各欄に数値を入力してください。

項目	1-(2+3+4+16+17)	10-(6-8-9+16+17)
計算値	0	0
正誤 チェック	正	正



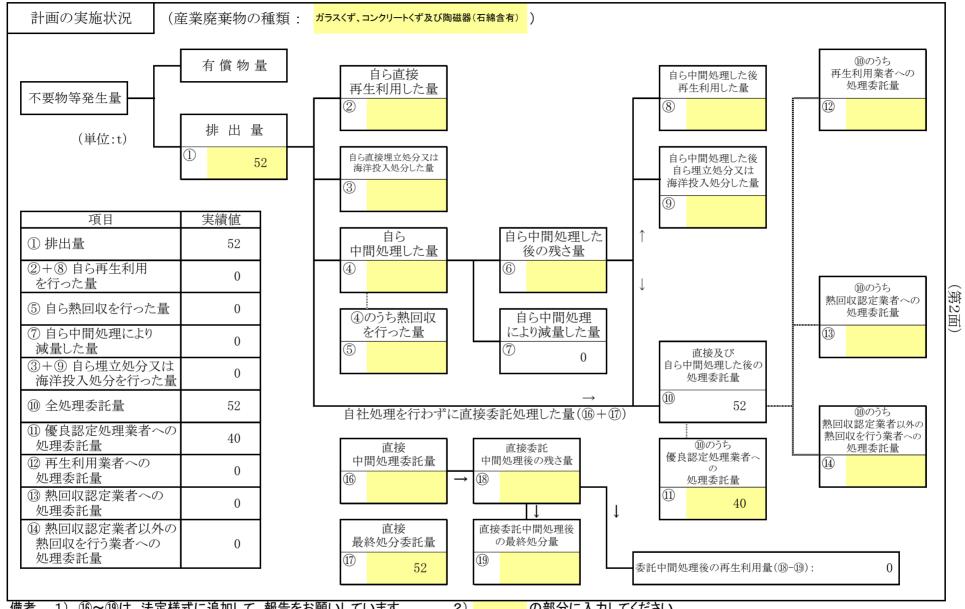
 1) ⑥~⑩は、法定様式に追加して、報告をお願いしています。 3) 次の2項目がゼロになるように、各欄に数値を入力してください。

項目	1-(2+3+4+16+17)	10-(6-8-9+16+17)
計算値	0	0
正誤 チェック	正	正



3) 次の2項目がゼロになるように、各欄に数値を入力してください。

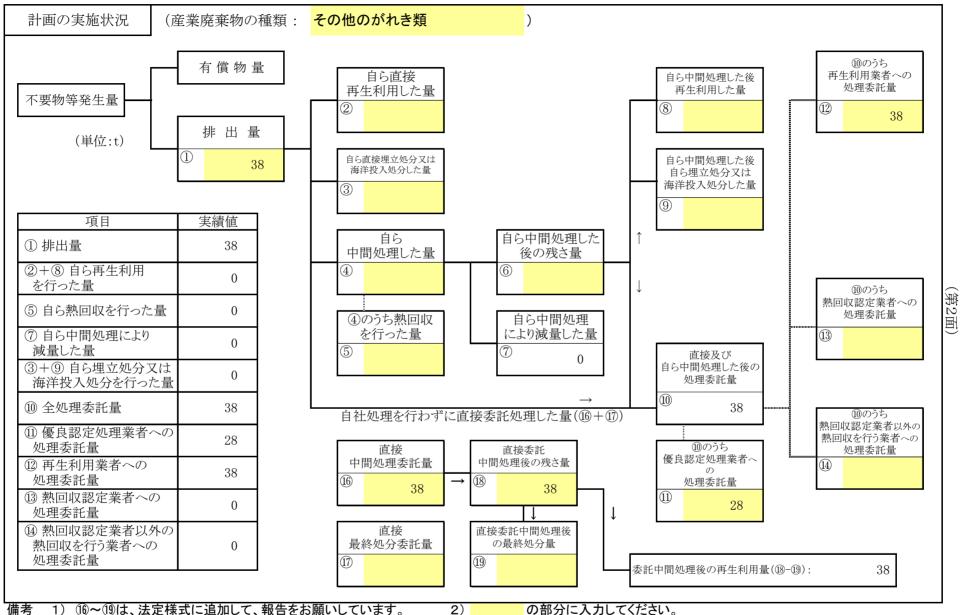
項目	1-(2+3+4+16+17)	10-(6-8-9+16+17)
計算値	0	0
正誤 チェック	正	正



1) ⑥~⑩は、法定様式に追加して、報告をお願いしています。

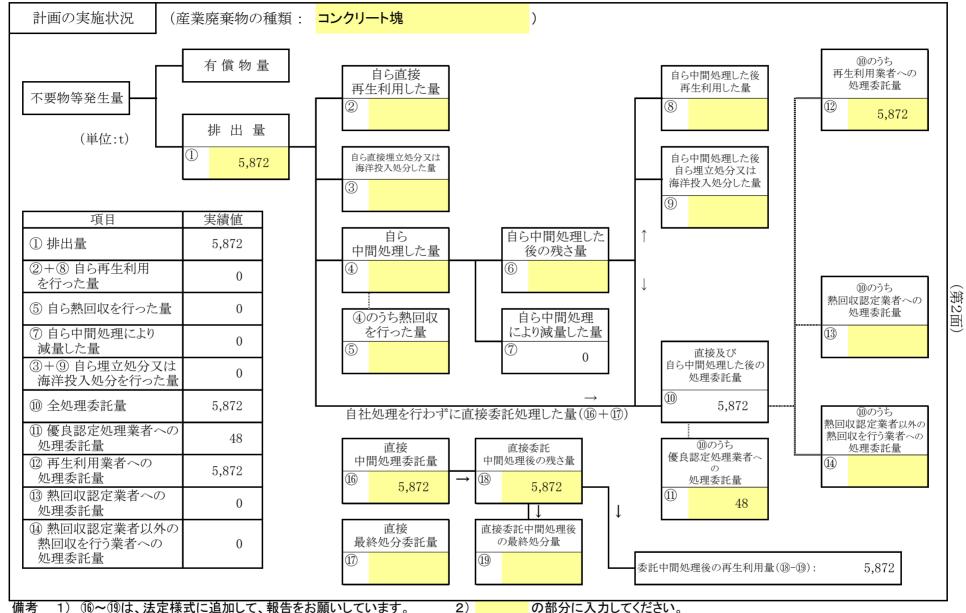
3) 次の2項目がゼロになるように、各欄に数値を入力してください。

項目	1-(2+3+4+16+17)	10-(6-8-9+16+17)
計算値	0	0
正誤 チェック	正	正



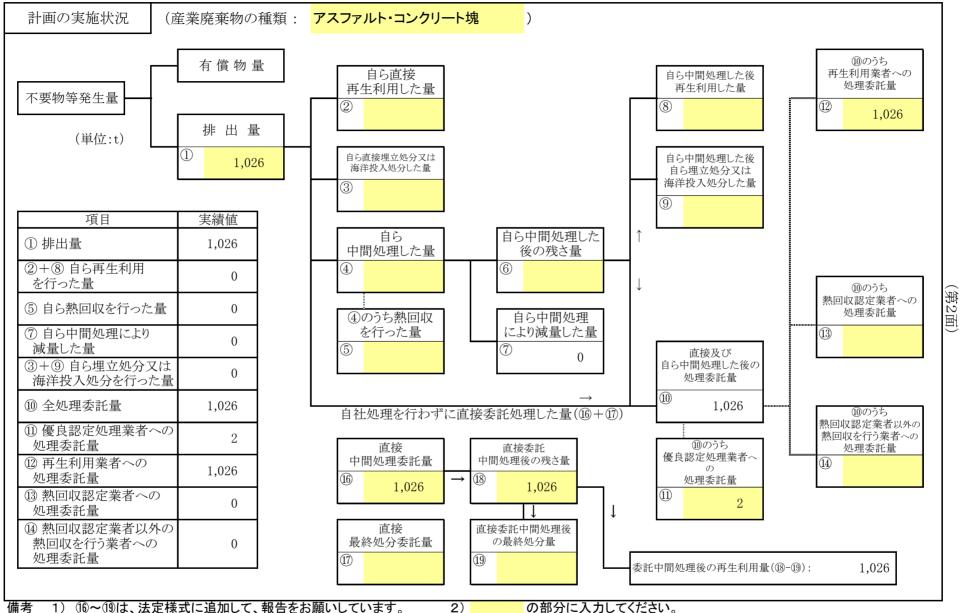
備考 1) ⑯~⑲は、法定様式に追加して、報告をお願いしています。 3) 次の2項目がゼロになるように、各欄に数値を入力してください。

項目	1-(2+3+4+16+17)	10-(6-8-9+16+17)
計算値	0	0
正誤 チェック	正	正



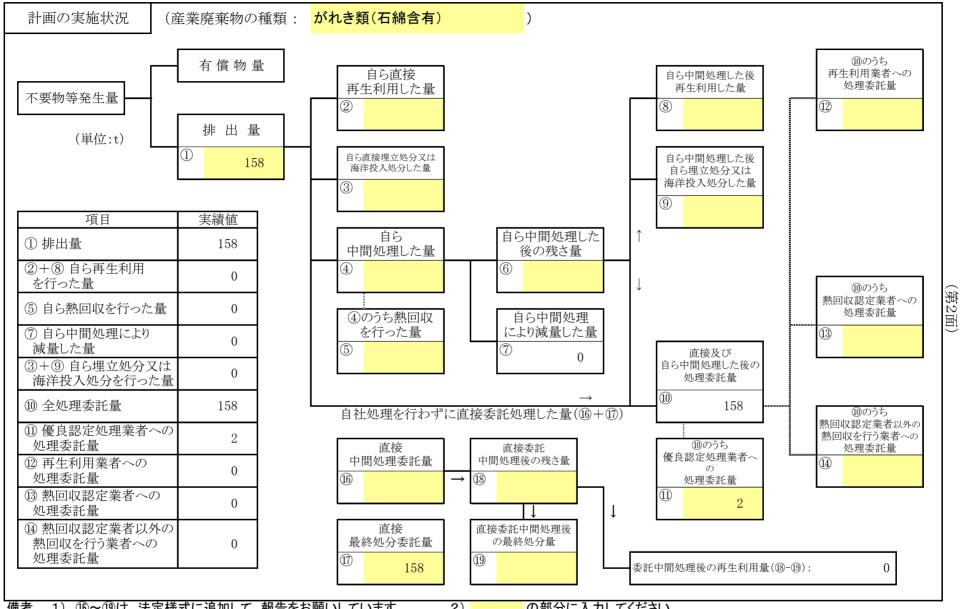
備考 1) ⑯~⑲は、法定様式に追加して、報告をお願いしています。 3) 次の2項目がゼロになるように、各欄に数値を入力してください。

項目	1-(2+3+4+16+17)	10-(6-8-9+16+17)
計算値	0	0
正誤 チェック	正	正



備考 1) ⑯~⑲は、法定様式に追加して、報告をお願いしています。 3) 次の2項目がゼロになるように、各欄に数値を入力してください。

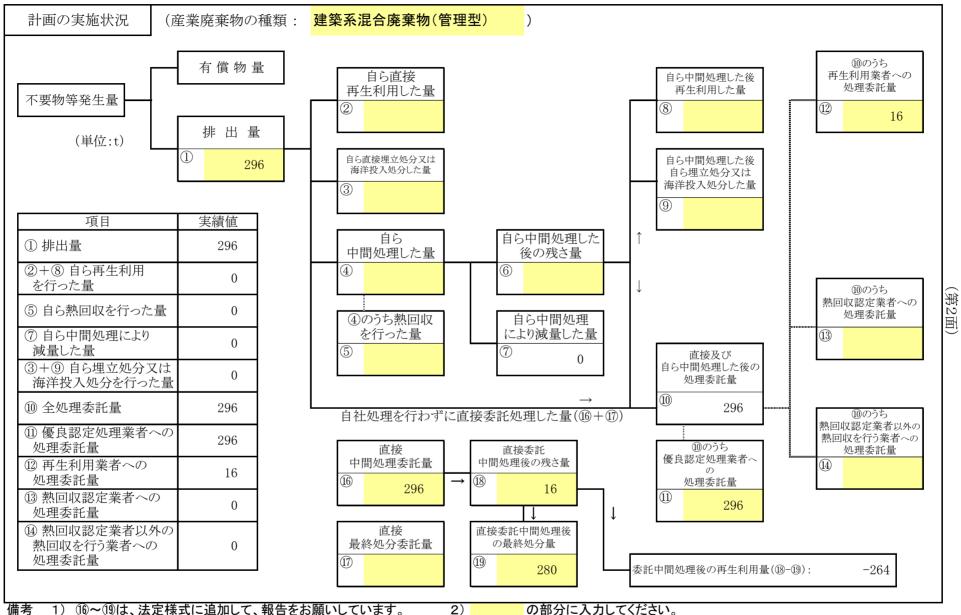
項目	1-(2+3+4+16+17)	10-(6-8-9+16+17)
計算値	0	0
正誤 チェック	正	正



1) ⑥~⑩は、法定様式に追加して、報告をお願いしています。

3) 次の2項目がゼロになるように、各欄に数値を入力してください。

項目	1-(2+3+4+16+17)	10-(6-8-9+16+17)
計算値	0	0
正誤 チェック	正	正



備考 1) ⑯~⑲は、法定様式に追加して、報告をお願いしています。 3) 次の2項目がゼロになるように、各欄に数値を入力してください。

項目	1-(2+3+4+16+17)	10-(6-8-9+16+17)
計算値	0	0
正誤 チェック	正	正

## 備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した 目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①~⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
  - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
  - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
  - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
  - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
  - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
  - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
  - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
  - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
  - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
  - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
  - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令 第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
  - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
  - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律 第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
  - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への 焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときには、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業 廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

## 

	提 出	者			
住所	名 称	担当部署担当者名	電話番号	FAX	電子メールアドレス
	各行政庁の所管区域内の作業所(現場)を総括的に管理する支店等の名称	報告担当部署の名称 報告担当者の氏名	報告担当部署の電話番 号		報告担当部署の電子 メールアドレス
姫路市南駅前町26番地	大和ハウス工業株式会社 姫路支店	本店住宅工事部第十二 課(姫路駐在) 露久志 かづみ	079-285-2155	079-223-5026	m802268@daiwahouse.

				計	画			施	状	況			1							1	T
	産ӭ	業廃棄物の種類	①排出量	②自ら直接	③自己直接埋立	4自	ら中間処理した量					9自ら中間処理した後		(10 = 1 - 2 - 3 - 4 + 6 - 6)		+(6)				2+8	③+9 自ら埋立処分又は海
	ı	T		再生利用した量			(1)	熱回収を行った	した後の残さ量	により減量した		自ら埋立処分又は海		委託先によ	1				①優良認定処理業者		洋
	コード	名 称	(1	.)	(t) 入処分した量(t)		(t)	(	t) (t	)	(t) した量 (t)	洋投入処分した量(t)	处理安託軍 (t)	⑫再生利用業者への 処理委託量(t)	③熱回収認定業者 への処理委託量(t)	<ul><li>④熱回収認定業者以外の</li><li>熱回収業者への処理委託量(t)</li></ul>	⑮その他の中間処理 委託量(t)	⑯埋立処分委託量(t	への処理委託量(t	がを行つに重(t)	投入処分を行った量(t
建設業の 備考	同右 半角	「建設工事等から発生する主な建設系廃棄物」の種類・コード参照	当該事業場において 生じた産業廃棄物の 種類ごとの量	①の量のうち、中間処理をせず直接自再生利用した量	間 ①の量のうち、中間 をせず自ら埋立処分は海洋投入処分した	加理 分又 た量	量のうち、自ら中 理した産業廃棄物 該中間処理前の	④の量のうち熱 回収を行った量	自ら中間処理を 行った後の量	<ul><li>④の量から⑥</li><li>量を差し引い</li><li>量</li></ul>	<ul><li>⑥の量のうち、自た</li><li>たら利用し、又は他人に売却した量</li></ul>	⑥の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量	中間処理及び最終処象を委託した量	①の量のうち、処理業者への再生利用委託量(③、④ 除く)	⑩の量のうち、認定熱回収施設設置者である処理業者への焼却処理委託量	⑩の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量	⑩の量のうち、委託して 破砕等の中間処理した。 (⑫~⑭を除く)	⑩の量のうち、直接 委託して埋立て最終処分した量	⑩の量のうち、優良認 定処理業者への委託処 理量	②の量と®の量を合 計したもの(自動計 算)	③の量と③の量を合計したもの(自動計算)
	1400	鉱さい				<u> </u>									10.1						
	200	汚泥	32.	3									32.	32.8	3					0.	0.0
	300	廃油	67.2	2									67.	2 67.2	2					0.	0.0
		廃酸	0.4	1									0.	4 0.4	1				0.4	0.	0.0
			0.0										0.	0						0.	0.0
	500	廃アルカリ	0.0										0.	0						0.	0.0
		廃プラスチック類	142	0	10	0.0	0.0	0	0.00		0.0	0	0 146.	7 06	140.0	0.0	2	6 25	41.3		0.0
		600 廃プラスチック類	143.		7.0	0.0	0.0	0.	0.0	,	0.0	0.				0.0	, 2	.0 3.5		), U.	0.0
		2430 廃プラスチック類(石綿含	143.5	2									143.	2 0.6	140.0	)	2	.6	41.8	0.	0.0
	700	and the second seco	3.	5									3.	5				3.5	0.4	0.	0.0
		木くず	31.8										31.	8 31.8	3				11.2	0.	0.0
			377.	2									377.	2 358.4	18.8	3			88.0	0.	0.0
	900	繊維くず	3.0										2.	9 2.8	3			0.2	0,2	0.	0.0
	1200	金属くず	2,663.	7									2,663.	7 2,663.7	7				28.		0.00
		ガラスくず、コンクリートく																			0.0
		ず及び陶磁器くず 1300 ガラスくず、コンクリートくす	<b>72</b> 1.	5 0	0.0	0.0	0.0	0.	0.0	)	0.0	0.0 0.	721.	398.9	0.0	0.0	0	.0 322.7	128.	0.	0.0
		及び陶磁器くず 1322 廃石膏ボード	280.0	6									280.	6 10.0	0			270.6	41.	0.	0.0
		2420 ガラスくず、コンクリートくす	388.9	9									388.	9 388.9	)				47.0	0.	0.0
		及び陶磁器くず(石綿含	52.	1									52.	1				52.1	39.9	0.	0.0
		がれき類	7,093.	3 0	0.0	0.0	0.0	0.	0.0		0.0	0.0	7,093.	6,910.5	0.0	0.0	0	.0 182.8	80.8	0.	0.0
		1500 その他のがれき類	37.										37.					25.2	28.		0.0
		1501 コンクリート塊																20.2			
		1502 アスファルト・コンクリート均											5,871.						47.0		0.0
		2440 がれき類(石綿含有)	1,026.3	3									1,026.	1,026.3	3				2.4	0.	0.0
		建設系混合廃棄物	157.0	6									157.	6				157.6	2.4	0.	0.0
			296.0	0	0.0	0.0	0.0	0.	0.0	)	0.0	0.0	296.	0 16.0	0.0	0.0	0	.0 280.0	296.0	0.	0.0
		2010 建設系混合廃棄物 (安定型)	0.0										0.	0						0.	0.0
		2020 建設系混合廃棄物 (管理型)											296.	0 16.0				280.0	296.0		0.0
		2410 建設系混合廃棄物											230.	10.0	<b>/</b>			200.0	290.0	,	0.0
		(石綿含有)	0.0	<u> </u>									0.	UI						0.	0.0
		<u></u> 合計	0.0	<u>) </u>									0.	0  						0.	0.0
			11,430.0	0	0.0	0.0	0.0	0.	0.0		0.0	0.0	11,433.	6 10,483.1	158.8	0.0	2	.6 789.1	674.9	0.	0.0

(注1)トン未満は原則として四捨五入。ただし、数字が有効であれば小数点以下3桁まで記載は可。 (注2)上記の産業廃棄物の種類以外の排出実績があった場合は、必要に応じ、直接追加入力するとともに、第2面も追加してください。